

会 議 結 果 報 告 書

会 議 名 称	政策会議	
日 時	平成 29 年 10 月 24 日(火) 午後 1 時 30 分～午後 4 時	
場 所	市役所本庁舎 3 A会議室	
出席者	出 席	市長、八木副市長、宮村副市長、政策部長、市長公室長、財務部長、都市部長
	事務局	企画課長、課長代理(調整担当) 陪席:秘書課長、課長代理(秘書担当)

議題 1 : 秦野市個人情報保護条例の一部を改正することについて	
担当部課等	政策部文書法制課
説明者	政策部長、文書法制課長、文書法制課課長代理(文書法制担当)
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 個人情報の定義を明確化するため「個人識別符号」を加えるとのことだが、個人情報に位置づけていなかったのか。 A. 法改正においては、個人情報の範囲を変更するものではなく、本市の条例でも同様である。</p> <p>Q. 本市条例で原則取扱禁止としている 4 項目について、制限を変更するのか。 A. 現状と同様、4 項目については原則取扱禁止としたい。その他の 7 項目については、取扱いに留意することとして、登録簿に登録し、審査会に報告することとする。</p> <p>Q. 個人識別符号のうち総務省令で定めるものについては、本市規則で定めるのか。 A. 条例の個人識別符号の定義の中で、法律や政令に委任する形で定めたい。</p>
会議結果	原案了承

議題 2 : 平成 30 年度(2018 年度) 予算の編成について	
担当部課等	財務部財政課
説明者	財務部長、財政課長、財政課課長代理(財政担当)
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過	【説明】

(説明・意見等)	<p>資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 業務運営費10%の削減について、財政課としてどう考えるか。</p> <p>A. 去年は、選択と集中により自主的にカットすることを期待したが、あまり効果がなかった。10%削減を前提に各部の創意と工夫で削減してほしいと考える。</p> <p>Q. スクラップアンドビルドを徹底し、選択と集中により優先順位付けすることは重要である。PDCAによる検証・確認をどのように行うのか。</p> <p>A. 予算要求様式をPDCAサイクルを意識して作成している。</p> <p>Q. 健全財政のため、具体的に何が必要と考えるか。</p> <p>A. 短期的には、適正な実質収支や財調残高の確保、起債残高の縮減、長期的には、地域経済の活性化、財政力指数の向上が必要であると考えている。</p> <p>(意見)</p> <p>丁寧な説明をしたうえで、全体で10%削減を厳守してほしい。</p>
会議結果	原案了承

議題3：秦野駅北口周辺市有地の活用方針について	
担当部課等	財務部資産経営課
説明者	財務部長、資産経営課長、資産経営課課長代理(資産経営担当)
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p>【説明】</p> <p>資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 条件を設け、本市のまちづくりに民間の力を役立てようという発想と思うが、今後の展開をどのように考えるか。</p> <p>A. 本市の発展につながるような産業を見出したいと考えている。多くの業界と意見交換などを行っていききたい。</p> <p>Q. 誘導する事業に具体的なイメージはあるか。</p> <p>A. 本市には工場が多くあり、機器の入れ換えなどに際して多くの人が訪れることなどに鑑みると、旅館業なども考えられる。人が集えるような業種を考えたい。</p> <p>Q. 庁内の横断的な体制はどのようなか。</p> <p>A. 関係部長に協力やアドバイスなどをもらうなど、連携を図っている。</p>
会議結果	原案了承

議題4：寡婦（夫）控除並びに寡婦（夫）に関する非課税措置及び調整控除の「みなし適用」について

担当部課等	こども健康部子育て支援課
説明者	こども健康部長、子育て支援課長、子育て支援課課長代理（子育て政策担当）、子育て支援課主任主事
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 （説明・意見等）	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. みなし適用を未実施の県内5市の理由はどのようなか。 A. 市民から要望がない、又は要望はあるが国が対応すべきと考えていることなどが挙げられる。</p> <p>Q. 予算編成に向け、スクラップアンドビルドなど財源への対応はどうか。 A. 現事業全体を見直したうえ、必要なものは対応したい。 （意見） 金額が少ないからこそ担当課の中でひねり出していかなければいけない財政状況であることを認識し、ムリをしてはいけませんが、ムダを省いてほしい。</p>
会議結果	原案了承

議題5：保育士確保に向けた補助制度の創設について

担当部課等	こども健康部保育こども園課
説明者	こども健康部長、保育こども園課長、保育こども園課課長代理（保育担当）
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 （説明・意見等）	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 他市で取り組んでいる同様の補助制度の状況はどのようなか。 A. 県内では厚木市及び平塚市で支援を行っている。厚木市では奨学金の返還に最大60万円、転居費用に最大10万円の助成である。平塚市では最大100万円の貸付けで、条件により返還が免除される。</p> <p>Q. どの地域からの転入を想定しているのか。 A. 地域手当の率の関係もあり、小田原市を除く県西部からの転入が想定される。静岡県東部の地域でも案内したい。</p> <p>Q. 市外からの通勤者に10万円の差額を設ける理由は何か。 A. 市内に住んでもらうことによる経済効果を期待し、差を設けた。</p>

	<p>Q. 必要な予算はどの程度を見込んでいるか</p> <p>A. 全体で400万円を見込んでいる。</p> <p>(意見)</p> <p>予算化については、予算査定の中で考えることとしたい。</p> <p>Q. 何年間続ける考えか。</p> <p>A. 3年間続け、検証したい。</p> <p>Q. 29年度予算要求時に、保育士の月例給を上乗せしようとしたが、今後も継続して要求するのか。</p> <p>A. 民間保育士の処遇改善は国で取り組んでおり、秦野市を選んでもらう施策を実施したい。</p>
会議結果	原案了承

議題6：中井町と共同で病後児保育事業を実施することについて	
担当部課等	こども健康部保育こども園課
説明者	こども健康部長、保育こども園課長、保育こども園課課長代理 (こども園・児童ホーム担当)
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 中井町と共同実施する理由は何か。</p> <p>A. 現在、足柄上郡の5町で病児・病後児保育事業の共同実施を検討しているが、開設場所が開成町であるため、中井町では、生活圏を考慮し、本市事業での町民利用を希望したもの。本市においても、事業の効率化が図られる。</p> <p>Q. 中井町からの利用者の見込みはどのようなか。また、本市への影響はどのようなか。</p> <p>A. 中井町では「病児・病後児保育」の利用者を年間20人と見込んでおり、病後児保育では10名程度が想定される。 28年度の1年間に定員3名を満了したのは7日間であり、本市利用者への影響は小さいものとする。 なお、それぞれの自治体の優先枠は設けず、先着順としたい。</p> <p>Q. 本市の事業で中井町の利用者を受け入れることと思う。事業名のとおり「共同」での実施であれば違う考え方があると思うがどうか。</p> <p>A. 中井町に一定の負担を求めたうえ、本市の病後児保育事業を中井町民も利用できることとする。</p>
会議結果	原案了承。ただし、事業実施に係る表現については、質疑を踏まえ、担当において再度検討することとした。

—以上—